

第448回鉄鋼流通問題懇談会議事録

日 時 平成31年4月25日(月) 14時30分より
場 所 茅場町「鉄鋼会館4階」日本鉄鋼連盟・第1会議室
出 席 者 経済産業省 黒田課長 篠原課長補佐 中村係長 丹係長
橋本会長(JFE スチール)

全国鉄鋼販売業連合会

会長 阪上(清和鋼業)
副会長 齊藤(栄鋼管)
常任理事 早川(太田商事) 井上(明治鋼業) 山岸(東邦シャーリング)
森下(ダイサン)

メーカー 森安・南浦(JFE)

商 社 島津(伊藤忠丸紅鉄鋼) 菅根(メタルワン) 笹本(岡谷鋼機) 中山(住友商事グローバル
メタルズ) 廣崎(JFE商事) 間瀬(阪和興業) 南(兼松トレーディング) 持木(日鉄住
金物産) 上之藪(エムエム建材)

事務局 五藤、内海

- 議 題
1. 全鉄連流通動態調査報告
 2. 全鉄連情勢報告、地区別概況報告、阪上会長総括
 3. 意見交換および商社品種別報告、メーカー報告
 4. 経済産業省挨拶
 5. 会長挨拶

- 配 付 資 料
- (1) 全鉄連流通動態調査結果表(平成31年3月分)
 - (2) 各地区業況アンケート4月調査結果
 - (3) 品種別報告、メーカー報告
 - (4) 鉄鋼需給推移表(平成31年3月確報)
 - (5) 普通鋼鋼材主要品種別生産推移表(平成31年3月確報)
 - (6) 全国市中鋼材数量調査(平成30年12月)

経 過

1. 流通動態調査報告

事務局より、配付資料に基づき、3月分の全鉄連流通動態調査結果について報告があった。
別紙、流通動態調査結果(2019年3月分)参照。

2. 全鉄連情勢報告

常任理事・理事より各地区の情勢報告、全鉄連事務局よりその他地区情勢報告があり、阪
上会長が総括した。各地区の情勢報告は別添参照。

阪上会長総括

各地区の報告を受け、阪上会長が以下のとおり総括した。

1～3月の販売量は前年割れであった。例年1～3月の建築向け需要は低調だが、今年はボ
ルト不足などが影響し、中小案件の工事が延びたことで例年より悪くなったのではないか。そ
のため在庫は徐々に増えてきている。4月も同じ傾向で先行き不透明感がある。製造業向けに
ついては、悪くないが、一般的に頭打ち傾向である。薄板関係はコイルセンターなど自販(プ
ロパー販売)が落ちている。受託の賃加工は増えている。厚板も自販が減少し、ユーザーから
の支給材による受託加工のウエイトが高くなっているのではないか。メーカーの価格是正につ

いて発言が出ているが、店売り価格と大手ユーザーひも付き向価格との価格差是正に期待している。

3. 意見交換

① 商社・品種別概況報告

鋼管・伊藤忠丸紅鉄鋼（島津 鋼管部鋼管第二課課長代行）、薄板・岡谷鋼機（笹本 鉄鋼第一部鋼板室プロジェクトリーダー）、厚板・J F E 商事（廣崎 東部鉄鋼本部厚板部厚板室）、条鋼・日鉄物産（持木 建材営業第一部形鋼課課長）

資料を参照。

② メーカー報告

高炉（J F E スチール・南浦営業総括室課長）より、最近の景況感などについて報告が行われた。報告内容は別添「メーカー報告」を参照。

4. 経済産業省挨拶（黒田課長）

2019 年度第 1 四半期（2019 年 4-6 月期）の鋼材需要量（見通し）は、前年同期比+0.1%の横ばい、前期比+0.9%の横ばいの 2,293 万トンとなる見通しです。その内訳は以下のとおりです。・国内需要（建設部門）土木部門で災害復旧工事等の国土強靱化政策に関連した大型公共投資が見込まれるほか、建築部門でも住宅の消費増税前の駆け込み需要や、工場等の非住宅向け需要の堅調な推移が見込まれることから、前年同期比で微増。季節的要因により、前期比では減少。

（製造業部門）輸出や生産の一部に弱さが見られるものの、新型車導入効果や消費増税前の駆け込み需要等による自動車需要の増加や、建設機械需要等の堅調な推移が見込まれることにより、前年同期比で微増。決算期後という季節的な要因により、前期比では減少。

・輸出：前年同期比では、エネルギー向け需要の停滞や世界経済の先行き不透明感等から横ばい。前期比では増加。今期の粗鋼需要量は、2,657 万トン。前年同期比+0.0%。前期比+7.1% 第 1 四半期は前年同期比収支トントン。自動車が前年同期比で 2.4%増加する予測である。高力ボルト不足について、昨年秋にアンケートを実施し、2 回目のアンケートを実施にまもなく結果がでる。鉄鋼グローバルフォーラムの実施期間は 3 年間で今年最後の年である。成果について中国事態は一致団結しており、中国では生産能力削減を実施した、自国ではやるべきことは行っていると主張している。6 月の G 20 で再度報告をまとめグローバルフォーラムの延長について協議する予定だと説明があった。

5. 橋本会長挨拶

橋本会長より概略以下のとおり挨拶があった。

市場環境についてマクロ指標では悪くない。1～3 月期を振り返ると高炉メーカーから出荷が順調で、安値だった輸入材の入庫と重なり鋼板類の在庫が増えた。米中摩擦の影響が工作機械や産業機械などの店売り販売の分野に響き、倉出し出荷減少に影響が出ているのではないかと説明があった。

※次回の会合予定

2019年7月29日(月)午後2時30分より茅場町「鉄鋼会館4階・日本鉄鋼連盟第一会議室」

以上